

| | |
|-------------------|-----------------|
| 人口 | 478,872人 (+12%) |
| 男 | 232,336人 (+7%) |
| 女 | 246,536人 (+9%) |
| 世帯数 | 165,421 (+17%) |
| 住民基本台帳による。()は前月比 | |

平成3年
8月25日
第1278号

にいがた



発行日 毎週日曜日 発行所 新潟市役所 〒951 学校町通1-602-1 編集 市長公室広報課 印刷 朝第一印刷所



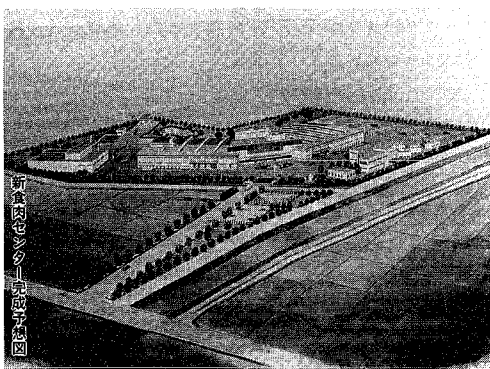
入館者一〇〇万人を達成

夏休みやお盆で大盛況の水族館で、入館者一〇〇万人を達成しました。八月十五日、入館者百万人を突破しました。幸運の百万人目となったのは川崎町の丸山倫夫さん。真II。記念の旅行クーポン券を岡地館長から手渡され、「とにかくくわいりです。三人になると知りませんが、もう百万人になるとは知りませんでした」と驚きと喜びの言葉、奥さんのゆり子さんと二人の小さな娘さんたちは、ミスのいながら大きなイルカのぬいぐるみをプレゼントされて大



喜び。同館はオープンから約一年一ヶ月、連日家族連れで約一万人、予想より一ヶ月早い百万人達成となりました。

県内最大 新食肉センター建設始まる



新食肉センター(完成予想図)

良質食肉の供給に 一層の期待

牛豚などを適正に処理し、同センターは、現食肉センター(小針)が二十三年を経けようと、新食肉センターの過し老朽化が進んだことと、食肉需量の増大、流通の広域建設工事が始まっています。

同センターは、現食肉センター(小針)が二十三年を経けようと、新食肉センターの過し老朽化が進んだことと、食肉需量の増大、流通の広域建設工事が始まっています。

同センターは、現食肉センター(小針)が二十三年を経けようと、新食肉センターの過し老朽化が進んだことと、食肉需量の増大、流通の広域建設工事が始まっています。

友好の翼であなともフライトを

新潟市との姉妹都市、ソ連ウラジオストク市へ初めてのチャーター便が、新潟ウラジオストク友好協会の十月に飛ぶことになり、同実行委員会では、この翼への参加を呼びかけています。

同センターでは新しく、部分肉カット施設や炭酸ガスによる麻酔殺方式(小動物)を導入するなど作業の安全化、効率化を図るほか、悪臭防止、血粉飼料化、汚泥堆肥化の設備も整え、周辺環境にも配慮しています。また新津市の県肉センターが廃止され、その役割も同センターで担うことから処理技術の統一が図られ、枝肉、部分肉の仕上がりも均一化していきます。

きょう25日は

障害者大運動会

時間 午前9時10分～午後3時
会場 陸上競技場サブトラック (雨天の場合は市体育館)
内容 クイズゲーム、民謡流し、ほか
※どなたでも参加できます。賞品、参加賞あり

防犯灯電気料

補助申請は 9/30までに

市報は新聞に折り込んでいます

市報にいがたは、毎週日曜日の新聞朝刊に折り込んでいます。折り込んでいないのは新潟日報、朝日、産経、読売、毎日、各紙です。未購読の方は市役所の窓口で、郵便などでも行っています。知り合ひにこれらの方を未購読の方に知らせ下さい。広報課(市内線2142番)へ

市では、自治・町内会、連合自治会が維持管理している防犯灯の電気料に対し、一灯当たり年間千円を補助します。

申請方法 東北電力の月分電気料金領収書または金融機関などの口座振替通知書(機内も写し可)が必要で、申請先 九月三十日まで(生申請(市内線2402番)、ま

市・県民税(第2期) 納期限は 9月2日

忘れずに納めましょう

生きて生きて新潟子 ③

深めていきたい ハバロフスクの子どもたちとの交流

白山小六年 笹川 純

白山小とハバロフスク十二番校は、昭和四十年に姉妹校になりました。六月に、ハバロフスクの児童使節団がきました。その中には、はくと同じく一年の人が十人いました。児童会で、交歓会を計画し、万代大蔵などの出し物をして、ハバロフスクの方から、歌を聞かしてもらったりしました。また、手つきおにや、授業観をして、手つきおにや、心を通じようとした。お別れ会では、質問を出しました。その中で印象に残ったのは、勉強の科目は、日本に比べて、テストの点は、日本は百点満点と教えたら驚いてのことです。むこうは五、六点満点です。これからも、交歓を深めていきたいと思います。

市役所・市教育委員会 228-1000 (代表)

野球場、テニスコートの申し込み...266-8111
園芸センター...286-1034
東保健所...243-6311
石山地区保健センター...286-4450
北地区保健センター...259-7332
西保健所...266-5171
西地区保健センター...262-3405
坂井地区保健センター...260-3255

休日診療(市医師会・県歯科医師会)
休日急患診療センター...228-2822
休日歯科診療センター...283-3030

ホームステイ家庭募集

ホームステイ期間 9月27日～30日
受入国 フィジー青年(公務員)12人
会話 英語
申し込み 8月25～30日までに須長さん(☎266-7858)か佐藤さん(☎246-1560)へ

味覚による国際交流コロキウム

日時 9月7日午後4時～7時
会場 新潟調理師専門学校(東幸町)
内容 ザイール料理
講師 ザイール共和国大使館一等書記官オンゼンゲ・コンドーさん
定員 50人(応募多数の場合抽選)
参加費 2,500円
申し込み 8月28日(消印有効)まで、はがきに氏名、住所、年齢、電話番号を記入し、フォーラム・パパラ半(☎2-9-7☎244-3459)へ

姉妹・友好都市絵画展

会場 9月1日まで市役所館で開催
内容 ガルバストン、ハバロフスク、ハルビン、新潟のアマチユアの絵画24点を展示
問い合わせ 市国際交流協会(市内線2033番)へ

生きて生きて新潟子 ③

深めていきたい ハバロフスクの子どもたちとの交流

白山小六年 笹川 純

白山小とハバロフスク十二番校は、昭和四十年に姉妹校になりました。六月に、ハバロフスクの児童使節団がきました。その中には、はくと同じく一年の人が十人いました。児童会で、交歓会を計画し、万代大蔵などの出し物をして、ハバロフスクの方から、歌を聞かしてもらったりしました。また、手つきおにや、授業観をして、手つきおにや、心を通じようとした。お別れ会では、質問を出しました。その中で印象に残ったのは、勉強の科目は、日本に比べて、テストの点は、日本は百点満点と教えたら驚いてのことです。むこうは五、六点満点です。これからも、交歓を深めていきたいと思います。